

2017年8月5日

はるひ野町内会 自主防災組織

自主防災かわら版

2017・5号

～2017年度 第1回 はるひ野町内会 防災訓練～

はるひ野 安否確認旗掲出訓練

いつ:2017年8月26日(土)

午前8時30分～9時30分

だれが:はるひ野町内会の皆さま

どこで:各家庭の前あたり

午前9時30分の旗取り込みまで、「はるひ野安否確認旗」を、玄関先や郵便ポストなどの道路からはっきり見える所に掲出する訓練です。



★天候がはっきりしない場合は、はるひ野町内会ホームページに当日朝、「決行」「中止」の連絡をします。また、広報車でも「決行と協力依頼」、或は「中止」のアナウンスをします。

★班長、自主防災関係者が町内を見て回ります。訓練終了は、午前9時30分の旗の取り込みまでです。

★安否確認旗は、災害発生時のために各家庭で保管をお願いしています。

★今回の訓練の目的は？ 安否確認旗が家のどこにあるか確認。安否確認旗の使い方を覚える事です。

※当日午前8時～9時の間、町内会広報車(車載スピーカー搭載車)が訓練へのご協力をお願いに町内を回ります。ご理解をお願い致します。

○安否確認旗を持っていない方は、

8月26日の訓練当日の8時から8時20分の間に、町内会事務所にお出で頂ければ、安否確認旗をお渡し致します。

～ 2017年度 ～

はるひ野 放水訓練のお知らせ

はるひ野自主防災組織では災害時の初期消火活動に備え、放水用のホースキットを保有しています。その使用方法を体験する訓練を実施いたします。この機会にご参加頂き(事前登録が必要です)、是非ご体験下さい。



過去の訓練の様子

いつ:**2017年8月26日(土) 午前10時～12時**

***少雨決行:当日朝8時までに決定**

だれが:**町内会員希望者(8月15日までに事前登録必要:**

先着15名まで:中学生以上)

:町内会役員(正副会長、部会長、ブロック代表者)、自主防災組織推進委員は原則参加。

事前登録方法:bousai@town-haruhino.join-us.jp宛にメールにて

「①氏名」「②参加人数」「③代表者メールアドレス」をお知らせください。

ご指導:麻生消防署

どこで:丸山こもれび公園周辺

訓練内容:3～4班に分かれ、消化ホースキットの説明、ホースの取り扱い、消火栓操作、放水等の一連の訓練の実施



過去の訓練の様子

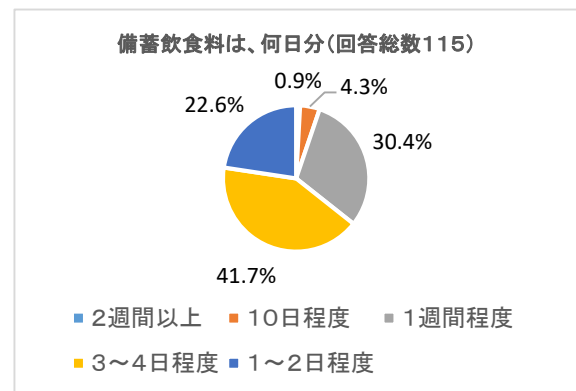
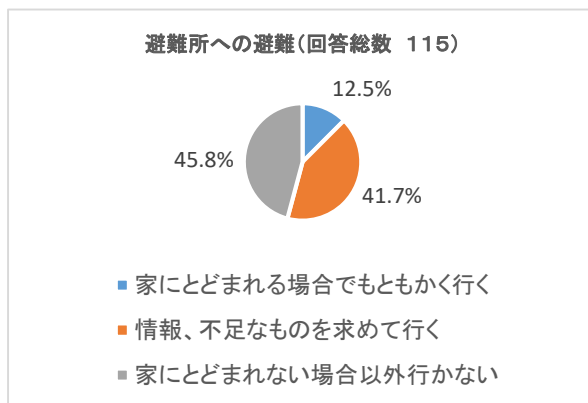
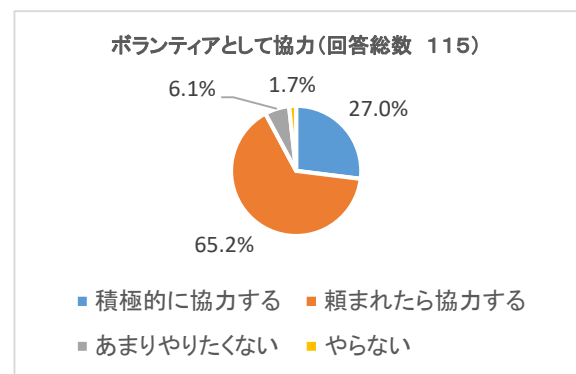
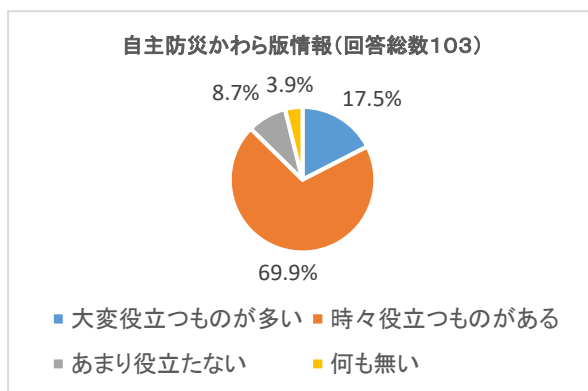
★天候がはっきりしない場合は、はるひ野町内会ホームページで当日朝、「決行」「中止」の連絡をします。

自主防災組織アンケート集計結果（抜粋）

今年4月の「拡大役員会」で、ブロック代表者、班長に自主防災組織の活動の理解、期待、町内会員の防災に対する準備、協力への意識等についてアンケートを実施しました。集計結果を、報告いたします。全質問に対する集計結果は、町内会ホームページ(お知らせ)に掲載されていますので、ぜひご覧下さい。

災害に対する準備(備蓄飲食料の量)は、多くの方が相当量を備蓄されていますが、約1/4の方が公的援助等が来るまでの量を確保されていない(1~2日分以下)状況が判明し、大変懸念される一方、ボランティアとして協力して頂ける意識は高く、大変頼もしい限りです。

自主防災組織アンケート（2017年4月8日実施）集計結果（抜粋）



*アンケートを通じて頂いた「自主防災組織に求めるもの」は、平常時には訓練、講習等、発災時以後は情報提供を求められる意見を多く頂きました。今後の活動を通じて対策や組織としてレベルアップを図っていきたいと思います。

2017年間かわら版テーマ 自宅避難

その3 防災グッズ

自主防災かわら版では一年を通して、「自宅避難」をテーマにしています。
今月は自宅避難時に役立つ「防災グッズ」です。

大きな災害時には、避難所に入れられない場合もあり、自宅が無事であれば、自宅の方が快適であるということで「自宅避難」時に必要となる主な「防災グッズ」をご紹介します。

① 簡易トイレ

災害時の水道復旧は1~3カ月かかることもあり、最低1カ月分の簡易トイレを確保する必要があります。

- ✓ (大)は1人1日1回で1回ごとに交換、(小)は1人1日4回で3回ごとに交換と言われていきますので、家族4人で1週間に必要な備蓄量は最低でも65枚、1カ月では約260枚が必要になります

② 口腔ケア用ウェットティッシュ

災害時に水道が止まると歯磨きが出来なくなり、肺炎等の感染症にかかりやすくなりますので、口腔ケアは必須です。

- ✓ 口腔ケア用ウェットティッシュの3つの用途として、歯磨き、お箸やスプーンなどが拭ける、手や体を拭けるといったことができますので、1家庭に100枚入りを数本常備しておくで安心です

③ 雨具・レインコート

雨天時はもちろん、寒さやほこりからも身を守ることができます。雨風を通さないレインコートは軽く、保温性能もあります。

- ✓ 災害時に自宅の片づけで利用でき、ほこりも落ちやすいので便利

ここでご紹介した以外にも、カセットコンロ・ボンベ、LEDランタン・ヘッドライト、マスク、ブルーシート等が役に立ちますので、この機会に「自宅避難」時に必要となる防災グッズを見直し、災害時の備えを強化頂ければと思います。

※ 本資料作成にあたりNPO法人プラス・アーツの資料を参考にしました。